

氏名	藤 田 豊 明
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 2902 号
学位授与の日付	平成7年 6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	びまん性肺疾患における好中球 スーパーオキシド産生能に関する研究
論文審査委員	教授 岡田 茂 教授 太田 善介 教授 清水 信義

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

好中球スーパーオキシド（好中球 O_2^- ）は生体防御機構における細胞内殺菌過程で産生される活性酸素であり、一方で炎症、組織障害、肺線維化においても一定の役割を果たしている。今回、びまん性汎細気管支炎（DPB）と間質性肺炎は特発性間質性肺炎（IIP）と膠原病に合併した間質性肺炎（膠原病肺、CVD+IP）において好中球 O_2^- 産生能を病態との関連で検討した。好中球 O_2^- の測定はcytochrome C の還元をspectro-photometerにて測定した。

DPBでは健康人対照に比べ好中球 O_2^- 産生の亢進が認められ、IIPと膠原病肺の間質性肺炎における好中球 O_2^- 産生能は全体としてはやや低値であった。DPBにおけるCRP及び白血球数と好中球 O_2^- 産生能の間に有意の正の相関が認められ、動脈血酸素分圧と好中球 O_2^- 産生能の間には、有意の負の相関が認められた。DPB及び健康人対照にEMを投与し検討を行った結果、EM投与により好中球 O_2^- 産生能が抑制された。間質性肺炎の病態において活動期では非活動期に比べ好中球 O_2^- 産生能が亢進しており、さらにステロイド投与による産生抑制が認められた。

従って、好中球 O_2^- 産生能の検討はびまん性汎細気管支炎並びに間質性肺炎の病勢評価に有用な指標となると思われる。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究はびまん性汎細気管支炎（DPB）、特発性間質性肺炎（IIP）と膠原病に合併した間質性肺炎（膠原病肺、CVD+IP）において好中球 O_2^- 産生能をcytochrome C還元能にて検討したものである。この結果好中球 O_2^- 産生能の検討は、びまん性汎細気管支炎並びに間質性肺炎の病勢評価に有用な指標となることが推測された。本研究は難治性肺疾患と好中球機能に関して新しい知見を得たものである。

よって本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。